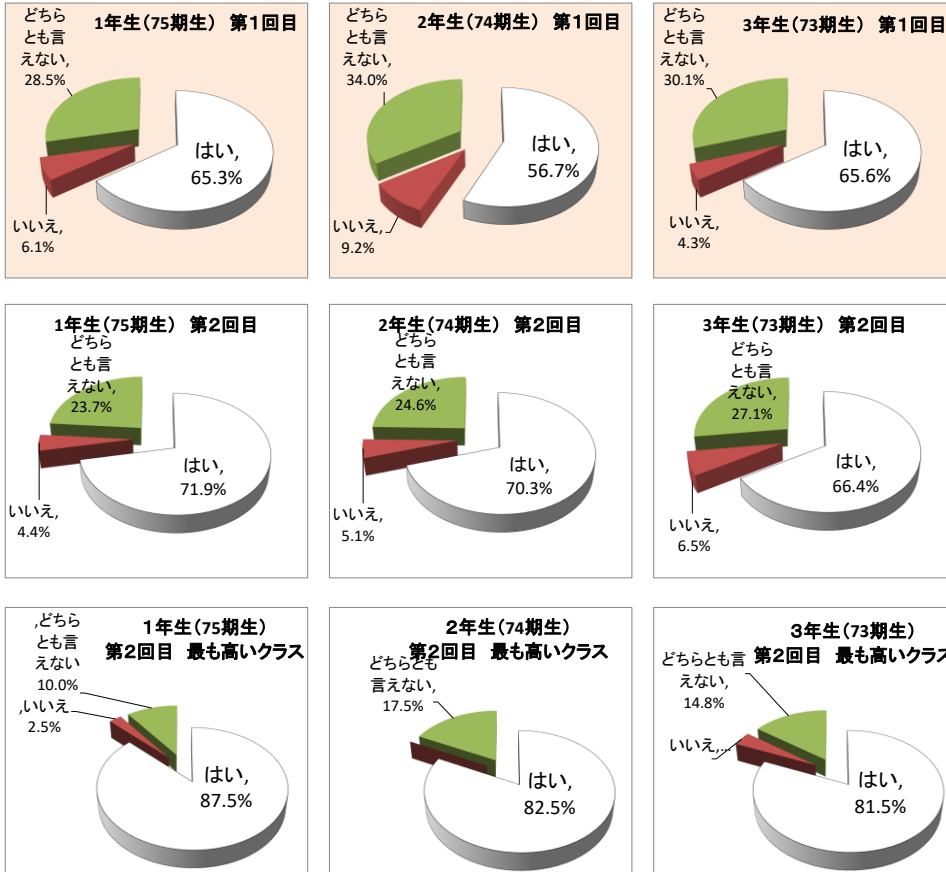


令和2年度第2回ホームルーム活動に関する調査 令和2年12月実施 第1回調査との比較

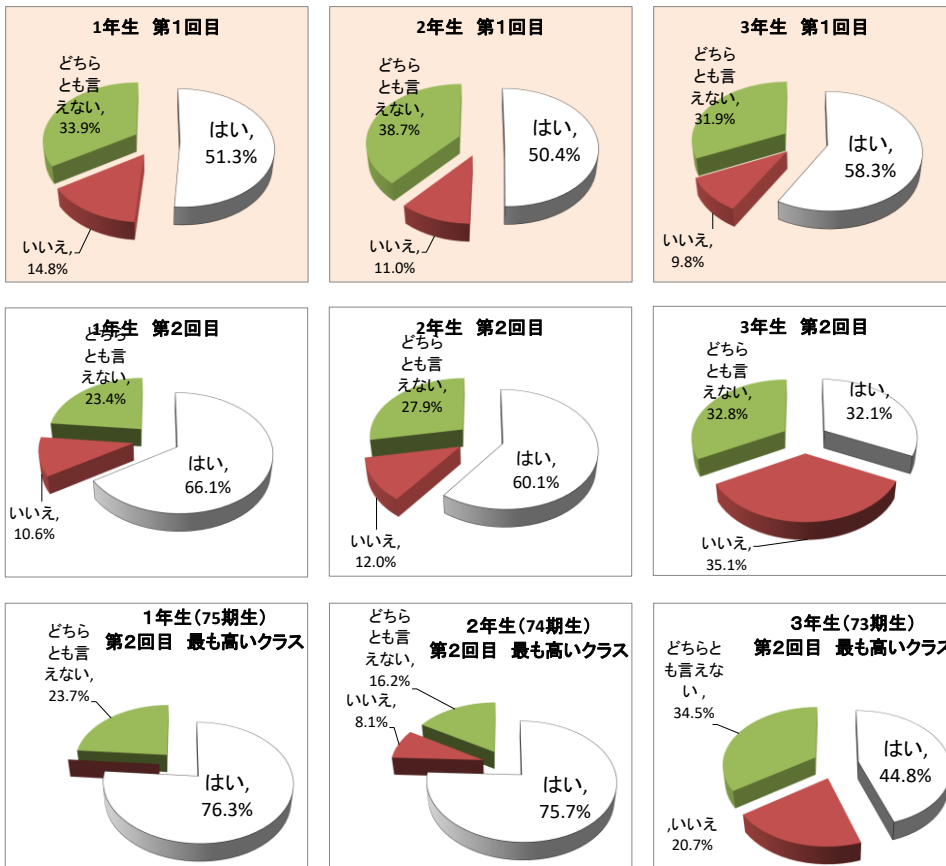
質問1 ホームルームは、毎回、テーマや活動内容があらかじめ計画されていますか。



ホームルーム活動は、年間指導計画に基づいて、意図的・計画的に実施するものです。クラスによる差が生じることは望ましくありません。担任の先生方が、常に情報共有を行うことが求められます。

本調査を開始以来、しかし、クラスによる差は年々小さくなってきています。今年度も、第2回目調査の結果は、第1回目より「計画性がある」と認識する生徒の割合が伸びています。

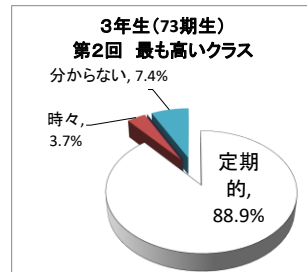
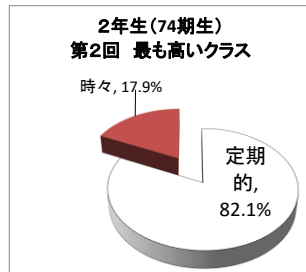
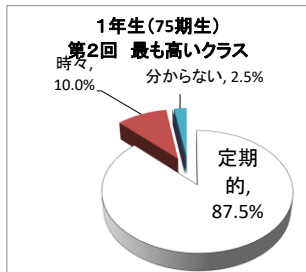
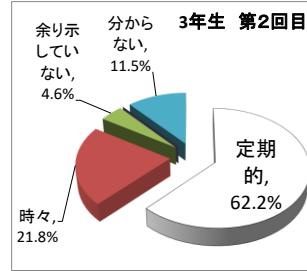
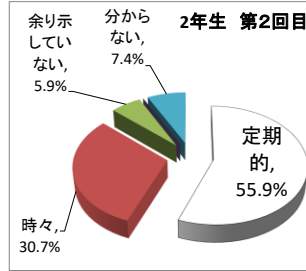
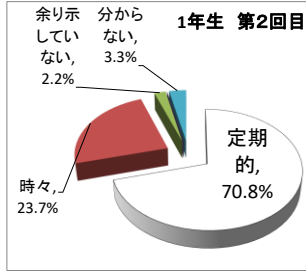
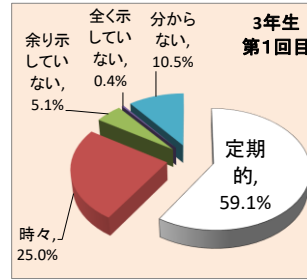
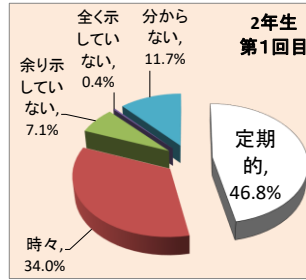
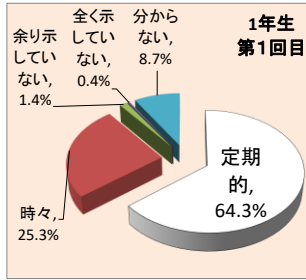
質問2 ホームルームでは、話し合いや発表などの活動が行われていますか。



話し合いや発表の活動は、生徒の自主性を涵養し、社会性を培うだけでなく、将来の進路について考え、自ら道を切り拓いていく志を立てるために重要な役割を果たしています。

例年、3年生は「話し合い・発表活動」の割合が3割程度です。今年度は、1回目の結果が突出して高かったことが分かります。1年生は前回より15ポイント程度、2年生は10ポイント程度伸びました。例年と比較してたいへん高くなっています。

質問3 担任の先生が、ホームルールで、みなさんの学習や進路に関する期待を明確に示していますか。



生徒に対して、学習や進路に関する期待を明確に示すことは、生徒の進路実現に重大な役割を果たしています。担任の先生はもちろん、すべての教科担当の先生に、生徒に対する期待を、ホームルーム活動や授業において、毎回、明確に示すよう、学校経営計画に位置付けています。

1年生は5ポイント程度、2年生は10ポイント程度伸びました。例年になく、各クラスの取組の浸透度合いが高いことがうかがえます。

3年生は、前回調査と大きな違いはありませんが、今回、実態調査の締め切り設定に誤りがあったため、回答できなかった生徒が60名近くでございましたので、実際には「定期的」の割合はもう少し高かったのではないかと推測します。